

A-V モニター
(補助バッテリー用 デジタル電流／電圧計)

-20B

型式：AM-120K-20B



- ・ バッテリーの電圧、充電電流、放電電流を正確に表示します。
- ・ 充電電流はプラス、放電電流（消費電流）はマイナスで表示されます。
（充電しながら消費した場合には、その差が表示されます）
- ・ 最大20Aまで対応しています。
- ・ 最小電流 0.01A から計測されるので、少量器具のスイッチ切り忘れの確認にも役立ちます。
- ・ 11.3V と 10.8V の2段階の残量警報ブザーはバッテリーあがり防止に役立ちます。
（11.3Vは予告として使用すると便利です）
- ・ 夜間でも見やすいバックライト付です。
- ・ [A-V モニター]の消費電流は 0.007A 以下、極めて少量です。
- ・ 本体と分流器の間は、付属のモジュラーコードで簡単スマートに接続できます。

サンフジ電子

〒388-8011 長野市篠ノ井布施五明 1-30
TEL/FAX 026-292-8290
E-Mail sunfuji2@janis.or.jp
<http://www.janis.or.jp/users/fuji2/>

A - V M O N I T O R

-20B

(補助バッテリー用 デジタル電流/電圧計)

キャンピングカーや小型船舶などの補助バッテリーのトラブルは、とにかく多いものです。

いざ、使うときにバッテリー切れになったり、思いのほか短時間で終わってしまう等々。

その原因は様々ですが、バッテリーの充放電電流や電圧が把握、管理されていない事が第一の原因ではないでしょうか。

限られた容量のバッテリーを使用しているにも拘わらず、それぞれの電気器具の消費電流が把握されていない場合が多いです。

[A-V モニター]でバッテリーの充放電電流や電圧を把握し、適切な管理を行いバッテリートラブルの防止にお役立てください。

仕 様

型 式	A M - 1 2 0 K - 2 0 B
適用バッテリー	12Vバッテリー用
測定方式	電流/電圧 切替方式
A/D変換方式	二重積分方式
電流測定 (A)	DC $\pm 0.00 \sim 19.99A$ 確度 $\pm 2\%rdg \pm 0.01A$ (rdg : 読み値) 充電電流は(+)無表示、放電電流は(-)表示します
電圧測定 (V)	DC 約7~19.99V 確度 $\pm 0.3\%rdg \pm 0.01V$
測定値表示部	3.5桁液晶表示器 (LCD) 文字高 12.8mm
バックライト	表示部のバックライト 緑色LED
電圧低下 アラームブザー	HIは約11.3V LOは約10.8V以下になると、 ブザーが間欠的に鳴り始めます。 電圧低下に応じて鳴る時間が長くなります
本体外形寸法	135W x 85H x 40D mm 突起物含まず
分流器ユニット	補助バッテリーの近くに設置します。(付属品) 最大定格電流20A 分流抵抗値5m Ω 外形寸法 140W x 70H x 40D
接続コード	本体と分流器ユニットの接続用です。標準長5m(付属品) 市販の電話機用4芯モジュラーコードで20mまで延長できます。
消費電流	7mA (0.007A)以下、アラームブザー時 約13mA
重 量	本体 約240g 分流器ユニット 約150g
温湿度範囲	精度保証5~35 $^{\circ}C$ 使用温度 -5~50 $^{\circ}C$ 80%RH以下(結露なきこと)

①A-V MONITOR 本体

付属の木ネジで、見やすい場所に取り付けます。
取付場所は電気器具の切り忘れや充電の確認がしやすい出入り口付近が便利です。
直射日光が長時間当たる場所や高温の場所は避けてください。

②測定値表示部

電流(A)又は電圧(V)の測定値が表示されます。
バッテリーに充電される電流はプラスで表示されます。(＋記号は省略)
バッテリーからの放電電流(消費電流)はマイナス(－)で表示されます。
充電しながら電気を使った場合は、その差が表示されます。
夜間でも見やすいバックライト付きです。(Kタイプ) * 1
電流、電圧とも、19.99を越えると 1x.xx 又は -1x.xx と表示されます。(xは表示が消える)

注意 19.99越えない範囲でご使用ください。19.99を越えると故障の恐れがあります。

③電流／電圧表示切替スイッチ

電流(A)、電圧(V)の測定表示の切替スイッチです。

④電源スイッチ

本体の電源スイッチです。
A-V MONITOR の消費電流は0.007A以下と極めて少量ですが、長期間使わない時は、電源スイッチをOFF にして下さい。

⑤電圧低下アラームHI L0 切替スイッチ(Kタイプ)

2段階の電圧低下アラームの切替スイッチです。
HIは約11.3V L0は約10.8V以下になると、ブザーが間欠的に鳴り始めます。
バッテリーが充分にあるときは、HI(11.3V) にしておきます。
ブザーが鳴ったら、L0(10.8V)に切り替えて、出来るだけ電気を節約して使います。
L0(10.8V)でブザーが鳴ったら、電気の使用は極力止めて、早いうちに充電して下さい。

⑥電圧低下アラームブザー(Kタイプ)

ブザーは間欠的に鳴ります。
電圧低下に応じて鳴る時間が長くなります

⑦モジュラーコード差込口

付属のモジュラーコードで本体と分流器ユニットを接続します。

注意 上記以外の接続は絶対にしないで下さい。
電話機や電話回線などに接続すると故障します。

⑧モジュラーコード

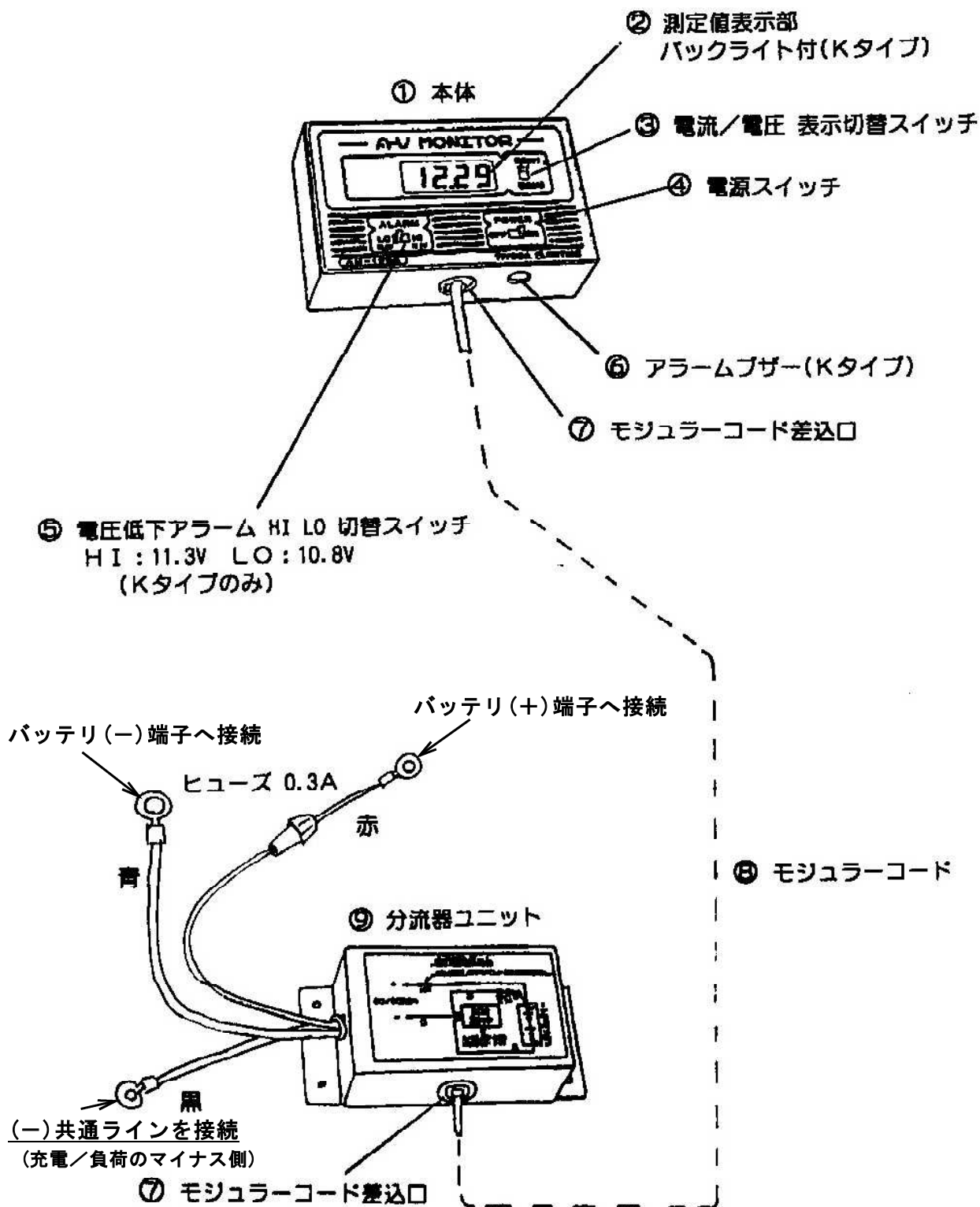
5mのモジュラーコードを付属しております。
市販の電話用4芯モジュラーコードで20mまで延長できます。
(電流測定値のゼロ点の誤差が生じることがあります)

⑨分流器ユニット

補助バッテリーの近くに取り付けて配線します。
・高温の場所、ホコリの溜まりやすい場所は避けてください。
・周囲は5センチ以上あけて下さい。

注意 分流器ユニットの最大定格電流は20Aです。必ず20A以下でご使用ください。
過熱、火災、の恐れがあります。

A-V MONITOR



A-V MONITORの接続手順

- 1、バッテリー（-）に接続してある既設の線を外します。
- 2、その外した線と分流器ユニットの「黒線」を接続します。
- 3、分流器ユニットの中間ヒューズの付いている「赤線」をバッテリー（+）に接続します。
- 4、分流器ユニットの「青線」をバッテリー（-）に接続します。
- 5、モジュラーコードで分流器ユニットと本体を接続します。

